

第5学年

	指導上の課題	指導の在り方	授業改善の視点
国語	<p>①目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成を考えて文章を書くことに課題がある。</p> <p>②問題から「何を問われているか」「どのように答えるか」等を捉えることに課題がある。</p>	<p>①内容を分かりやすく伝えるために、相手や目的を意識して書くための力を付ける指導が大切である。</p> <p>②文章全体をよく読み、読み取ることができるようにする指導が大切である。</p>	<p>①書くときには、書いた文章を読ませる対象を明らかにする。起承転結や始め・中・終わりなどの構成を意識させる。冒頭部や終結部の書き方を工夫する指導をしていく。</p> <p>②問題や文章全体をよく読み、「何を問われているか」「どのように答えるのか」を捉えられるように継続的に指導していく。</p>
社会	<p>①世界の主な大陸と海洋、主な国の名称と位置、我が国の位置と領土を地図や地球儀、資料などを活用して調べる学習に課題がある。</p> <p>②資料を読み取ったり、資料を活用したりして、自分の考えや意見を持ち、学習したことをまとめる力に課題がある。</p>	<p>①名称や位置を調べるだけでなく、世界の中における我が国の国土の様子を捉え、産業に関する学習などにおいて活用できるようにする指導が大切である。</p> <p>②資料を適切に活用し、情報を取捨選択しながら、社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、それを基に議論する力を養う指導が大切である。</p>	<p>①地図や地球儀、統計、年表などの各種の基礎的資料の活用の仕方を指導し、繰り返し学習する。また、産業に関する学習において、各種資料を活用できるように、学習の問題を追究・解決する活動や見方・考え方を働かせ表現させる活動を設定する。</p> <p>②見方・考え方を働かせて、気付いたことや考察をノートに書かせる。また、社会に見られる課題を把握し、情報を適切に調べ、取捨選択をしながら工夫してまとめる力を育成する。また、タブレット等を活用し、自主的な調べ学習を取り入れ、まとめた事を発表する授業を展開する。</p>
算数	<p>①計算や図形などの基礎学力について個人差がある。</p> <p>②問題解決をする際、自分の考えを表現したり、相手の表現から理解したりすることに課題がある。</p>	<p>①少人数指導を進め、児童の理解や習熟の程度、興味・関心に合った学習の中で、定着を図る指導が大切である。</p> <p>②考えを伝えるには論理的であること、場面によって表現を工夫することの指導が大切であり、年間通して行う必要がある。</p>	<p>①少人数指導の中で、児童の理解や習熟の程度、興味・関心などに応じたきめ細かな指導の充実を図り、習熟度に合わせて基礎的な問題や応用問題を選び指導する。また、朝学習、ユニットの時間、家庭学習を活用し、基礎学力の定着と習熟を図る。</p> <p>①東京ベーシックドリルを活用し、習熟を図る。</p> <p>②問題解決場面で言葉、図、式などの表現を扱い、伝え合う習慣を積み重ねる。</p>
理科	<p>①根拠のある予想や仮説を発想することに課題がある。</p> <p>②問題についての予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、考察・結論と結び付けることに課題がある。</p>	<p>①既習の内容や生活経験を基に、予想や仮説を発想させることが大切である。</p> <p>②条件を制御して観察・実験方法を論理的に考えさせることが大切である。</p>	<p>①既習の内容や生活経験を想起させることで、根拠のある予想や仮説を発想することができるようにする。</p> <p>②予想や仮説を基に、変える条件、変えない条件を整理させることで、解決方法を発想できるようにする。また、どんな結果になるか見通しをもつことで、考察・結論と結び付ける。</p>
音楽	<p>①自然で無理のない発声で歌う児童が増えているが、表現を工夫して歌うことに課題がある。</p> <p>②音楽を形づくっている要素の表れ方に関心をもって鑑賞する児童が多いが、感じたことと関連付けて表現することに個人差がある。</p>	<p>①曲の特徴や歌詞の内容について理解を深めながら、表現の工夫を試行錯誤することが必要である。</p> <p>②知覚・感受する場面で、どのように感じたかについて、考えを広げることが必要である。</p>	<p>①歌ったり聴いたりして気付いたことを楽譜で確認しながら曲の特徴をつかませ、歌詞の意味や大切にしたい言葉について考えることで、根拠をもった表現の工夫につなげられるようにする。</p> <p>②知覚・感受したことや感じたことを児童同士で共有する場面を十分に設定し、考えを広げたり、語彙を増やしたりすることができるようにする。</p>
図工	<p>①規律を守って授業に参加することができている。また、様々な材料を使って自分が表現したいものを工夫して表現する力が身に付いている。課題に対して一生懸命向き合う気持ちが見られるが、自分の表現したい思いに技能が追い付かず、完成まで計画的に作業を進めることに課題がある児童もいる。</p>	<p>①学年に応じた材料や用具を、題材に合わせて適切に扱うことができるようにすることが大切である。また、全体の見通しをもち、目標や計画を立てることが大切である。</p>	<p>①扱う材料や道具に応じた技術を身に付けられるよう、全体に向けてポイントを絞った指導をする。個別に教師の言葉かけを行い、全員がスムーズに作業を進められるようにする。</p> <p>②授業の流れや制作過程の手順の掲示をする。毎時間それぞれのめあてや目標を立てて、計画的に進めることができるようにする。</p>

家庭	<p>①関心をもち前向きに取り組む児童が多いが、経験の違いから裁縫の学習では技能面で個人差が見られる。</p> <p>②家庭科は衣食住や環境、生活文化など、様々な視点から生活を見直し自分の生活をよりよく変えていくことが大切だが、その意識が十分とはいえない。</p>	<p>①技能を身に付けられる実習の場を大切にし、一人一人が主体的に取り組む、達成感を味わいながら技能が向上できるようにする。</p> <p>②衣食住に関する基本的な知識や技能を身に付け、豊かで楽しい家庭生活を送ろうとする態度を育てることを大切にする。</p>	<p>①技能を身に付ける実習では、手順を示す絵やカード、作品の見本などの手だてを工夫する。また一人一人が主体的に実習を進めていくために、達成感や充実感が味わえるようなめあてや教材を工夫する。</p> <p>②自分の生活を振り返る時間を大切にし、自分なりの課題を見つけて解決していくことを意識させたり、互いのよさを感じ合いながら全体の力を高めていけるように工夫したりする。</p>
体育	<p>①各領域での技能のポイントを把握できず、運動の特性（楽しさ）を味わえない児童がいる。</p>	<p>①指導者が個々の児童の課題を理解し、練習の時間に技能のポイントや動き方を示し、友達同士の教え合い、学び合う場を設定することが大切である。</p>	<p>①単元の導入時に児童が運動の特性・教材の特性を知った上で、学びの内容を設定する。</p> <p>①学習カードを活用し、その日のめあてを振り返り、記録をして残すことで、児童の思考を明確にしていく。そして、次の自身の目標設定につなげることができるようにする。</p> <p>①運動の特性（楽しさ）を味わえるように児童全員が楽しめるゲームの規則を考え、共有していく場面を多く取り入れる。</p> <p>①児童同士の話し合いの場を設け、個人や全体の課題を解決するために、互いに見合いながら技能を高め合えるようにする。</p>
総合的な学習の時間	<p>①何のために活動するのか、課題がはっきりしないまま学習が進んでしまう児童への手立てが課題である。</p> <p>②体験したことを日常生活に生かすまでには至っていないことが多いことが課題である。</p>	<p>①自然体験や社会体験、観察・実験、見学や調査など既習の学習を基に、実生活や実社会と結び付けて学習課題を見いだすことが大切である。</p> <p>②体験したことを自らの生活に結び付けられるようにして、学んだことを日常に生かすことが大切である</p>	<p>①学習する事柄が児童の興味・関心が高まるものであるか、また、児童が自ら課題をもち、課題を解決するのにふさわしい探究課題であるか検討する。</p> <p>②学習活動を設定する際に、実生活や実社会との結びつきを考えたり、今までに体験したことや経験したことを振り返ったりしながら自ら問いを見いだせるよう指導の工夫をする。</p> <p>③体験したことを日常生活に生かせるよう、学んだことを意図的に結びつけた学習を進めていく。その際、年間指導計画と各教科、総合的な学習の時間で学ぶ事柄を相互に関連付け、教科横断的な学習になるよう計画を立てる。</p>
外国語	<p>①主体的にコミュニケーションをとる態度に課題がある。</p> <p>②読むことと書くことの基礎的な技能習得が課題である。</p>	<p>①他者に配慮し、距離を確保しながら、主体的にコミュニケーションを図ることができるようにすることが大切である。</p> <p>②本時で扱う会話表現が、日常のどの場面で使うのかが分かるように、授業の工夫をすることが大切である。</p> <p>②音声で十分に慣れ親しみ、簡単な語句等の表現の意味が分かり、書き写せるようにする。</p>	<p>①英語を用いた言語活動を通して、体験的に楽しみながらコミュニケーションを図れるようにする。単元の中で段階的にめあてを設定し、歌やチャンツ、アクティビティの中で動作や交流等を取り入れて行う。学習のめあてや対話のポイント等の振り返りを行い、日常や次時への意欲に活かす。</p> <p>②対話や発表の機会を取り入れる。また、距離を保ち、声量に配慮しながら相手意識や目的意識をもたせ、日常の会話表現に近い状況を設定してアクティビティ等を行う。</p> <p>②簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読み、語順を意識して書き写す活動を取り入れる。</p>
道徳	<p>①道徳的価値について、他者の考えを受け止めながら、自分の考えを深めることに課題がある。</p>	<p>①道徳的価値について自分事として考えたり、他者の考えを受け止めたりすることで、自己の特徴を知り、深く見つめられるようにすることが大切である。</p>	<p>①児童の価値観を揺さぶる発問を考えたり、ワークシートを活用して児童の思考を明確にしたり、表現できるようにする。</p> <p>①ペアや小グループでの意見交流をし、自分事として置き換えることを促し、自分の考えを振り返る場をもつことで、生き方についての考えを広めたり深めたりできるようにする。</p>